

平成28年度豊岡市障害者自立支援協議会(運営会議)

平成28年度 地域課題		部会で取り組んだこと	見えてきたこと	下半期の方針	豊岡市への提言
しごと部会	公共交通を利用して、通勤手段を考える	○ノーマイカーデーの企画・参加・課題抽出 (目的) ・障害者のより良い生活のための重要な移動手段として欠かせない公共交通の維持と利用拡大を図る。 ・支援者が取り組むことで、公共交通の実情を知るとともに、障害者支援を考える。 ・ノーマイカーデー実施 実施期間 平成28年7月～12月 実施日 毎月第2水曜日(別日での実施も可) ・実施報告 7月 8名参加 8月 10名参加 9月 2名参加 ※添付資料参照 ○都市整備課との意見交換会実施 ・ノーマイカーデーの取り組みからあがった課題を共有	○都市整備課との意見交換により、人口が減っているためバス人口も減っており公共交通を利用して路線を守らないと重要な移動手段である公共交通がなくなってしまうという、豊岡市の切実な状況を確認。 ○課題の共有により見えてきたこと ・土日の便が少ないが、市としては増便するほど補助金が増える状況である。 ・乗り継ぎに時間を要するが、市では待ち時間を楽しめるものにする工夫を考えている。 ○都市整備課では『乗って帰ろうデー』を企画し、公共交通を活用する機会を設けている。 楽しみを盛りこんだ仕掛けが必要。 ○公共交通の維持と拡大に繋げるため、継続した取り組みが必要。	○路線バス・コバスの乗り方講習会の開催を検討。	
	障害者の就労に関する理解や企業の取り組みを伝える	○障害者雇用に取り組んでいる企業を豊岡市広報に紹介 ・紹介企業 (株)タクマテクノス インタビュー・工場見学 インタビュー内容まとめ	○今回の紹介企業は新設の公共施設であり、集団雇用のメリットが紹介できる。 ○企業紹介は、豊岡市内の企業また就労を目指す方の双方に効果が大いと考えられる。 ○今後も、企業の取り組みを伝えていく機会が必要である。	○市広報平成29年3月号の掲載に向け、原稿作成・企業への確認等作業を進めていく。	
		○就労系障害福祉サービスの情報を得られにくい市民もあることから情報発信が必要 就労系障害福祉サービスを市民へ周知する必要があるため周知方法を検討 ↓ 豊岡市広報を利用した就労系障害福祉サービスの周知を市へ依頼する。	○豊岡市広報平成28年10月号へ周知記事掲載 ※添付資料参照 ○ハローワークでは、障害のある方で一般就労への不安を感じている方等へ広報記事を用いて説明することができ、市への相談がスムーズになっている。		
	企業に『障害者雇用』の啓発を行う	○障害者雇用の啓発資料作成を企画 (目的) ・企業に『障害のある方のできること』、『障害のある方の作業に取り組んでいる姿』を知ってもらい、障害者への理解を深めていただき、障害者雇用の拡大につなげる。 (取り組み) ・趣旨に賛同いただける就労系障害福祉サービス事業所へ、作業風景の動画・写真の提供を依頼 ・提供いただいた写真等をひとつの啓発資料としてまとめる。 ・作成した啓発資料はハローワークで障害者雇用の啓発資料として活用いただく。	○ハローワークの他、啓発資料を活かす場を広め、雇用だけでなく障害者への理解を促していくことが重要。 ○住民向けや教育の場でも活用していくことができる。	○映像を用いた啓発資料を活かす場を拡大していく。 ○企業に向けて障害者雇用の啓発を行い雇用の拡大に繋げていく。	
				○来年度の障害者福祉関係機関の支援者の職場体験会開催に向けて検討する。	
運営会議で課題としてあがった『更生訓練費給付事業』について、しごと部会で検討		○豊岡市更生訓練費給付事業実施要綱について検討 ・一般就労するためには自力通勤できる力が必要である。市内の障害福祉サービス事業所に公共交通を利用して通所する方に対して、交通費補助があれば、より公共交通を利用した通所が可能になる。 ・現行の更生訓練費給付事業実施要綱の確認	○現行の更生訓練費給付事業実施要綱は、対象者や対象事業が明確でない。		